

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年関連団体補助事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	10	01	02
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり		主管課長	戸部 孝彰				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	青少年指導センター補導員連絡協議会 学校警察連絡協議会	意図	自分たちの街を自分たちの住みよい街にする。青少年に「愛のひと声」を掛けることによって、健全で明るい社会環境をつくる。また、児童生徒の健全育成のために関係機
事業内容	青少年の健全育成及び非行防止を図るために、関係団体を支援し、かつ関係機関との連携を深めることで、活動の充実に努める。			
事業開始から現在までの状況変化	青少年補導員の情報交換及び資質向上のため補導員連絡協議会が組織された。また、学校と警察及び関係機関との情報の共有交換の場として、学校警察連絡協議会が組織された。開始時と変わらず情報交換や研修の場として必要と認識。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	補導活動	1,802	1,734	2,590	人
②	青少年の補導者数	306	124	178	人	↓↓↓	小37中49高55大5有職30無職2（納涼祭での補導含む）
③	学校警察連絡協議会	38	38	38	人	→→	役員10生徒指導主任28
④							
指標で表すことができない定性的な成果		目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）					
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,883,000	6,729,545	6,668,013			
事業費(b)(円)		585,000	584,345	585,000			
うち一般財源		585,000	584,345	585,000			
職員給与費(c)(円)		6,298,000	6,145,200	6,083,013			
人役・職員(人)		0.80	0.80	0.80			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.40	0.40	0.40			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	流山市青少年指導センター補導員連絡協議会、流山市学校警察連絡協議会において、情報の共有化を図り、研修を充実していく。	③取り組みの課題	学校からの情報収集を綿密に行う事。補導員と学校との情報共有の在り方を検討する
②今年度(H26)に実施した取り組み	情報の共有化を図り、より効果的な生徒指導を行えるようにした。また、研修会において必要性が強い内容を展開できた。	④今後の改善計画	情報発信の質と量を高め、効果的な情報の共有化を図る。